地域助け合い基金

ご理解いただきたい３つの特長

～　私たちの助成に向けた想いをお伝えします　～

公益財団法人
さわやか福祉財団

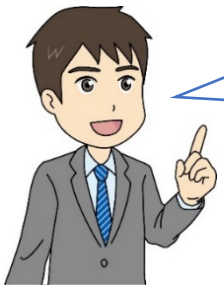
～　地域助け合い基金　ご理解いただきたい３つの特長　～

①　全国からいただいた貴重な寄付金を活かして、共生の活動を広げる

ちょっと教えてほしいんだが、さわやか福祉財団の「地域助け合い基金」は何を原資にしてるんだい？

実は、「助け合いを広めて欲しい」と想いのこもった貴重なご寄付を原資にしています。
そのため助成金が寄付金の額を上回ってしまうと、申請をいただいても助成することができなくなってしまうんです。

ホームページに「助成可能額」と書いてあったのは、そういう理由なのか。



上限を定めたり、回数を原則１回と定めているのも広く多くの活動を応援したいからなんです。

そうか。寄付者の気持ちを考えたら、１円も無駄にはできない貴重なお金だね。私たちの計画にも、節約のアイデアや工夫が必要だな。

これまでもいろいろなアイデアがありましたよ。
例えば、無料で提供されているサービスを上手に活用して節約したり、地域の人たちの応援で、機材備品を譲ってもらえたという報告もありました。

なるほど！できることから始めて、徐々に活動を発展させていく発想だね。確かに地域の人たちの協力があれば、活動も続けやすくなるな。私たちも、たくさん情報を集めてしっかりと計画してみるよ！

さわやか福祉財団の「地域助け合い基金」の特長　その１：基金の原資は貴重な寄付

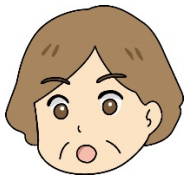
この基金は、助け合いを広げたいという想いに共感し日々財団に届けられる全国からの貴重なご寄付を原資としています。そのため、申し込みの受付は特別な期限を設けず、随時受付ています。

一方、いくら寄付者を多く募っても、お預かりした寄付金が希望される助成金を下回ってしまうと、この仕組みではその時点で助成を行うことができなくなります。

この基金を継続させるために、助成を受ける活動者の方々にも、有効活用に向けた工夫、徹底した節約を考えた助け合い活動の内容を申込書に記載いただけることをお願いします。

～　地域助け合い基金　ご理解いただきたい３つの特長　～

② 地域で連携して、共生の活動を広げる



あのー。この基金の説明にある「地域共生社会」って、なんだかよくわからないんですけど。どんな活動なら助成を受けられるのかしら？

基本的には、政治活動や宗教活動などは対象外ですが、それ以外の国内で行われる活動なら、分野や対象者については原則問いません。この基金では、できるだけ広く助成することを想定していますよ。

えっ！実は私「ウォーキング」が趣味なのよ。同じ趣味のお友達といつも一緒に活動してるんだけど、これも応援してくれるの？

健康的でいいですねぇ。ただ、この基金で最も重要視している要素は「地域との連携」です。今のお話も、単に仲間と趣味を楽しむだけではなく、地域の人たちとのつながりを広げることを目的とした活動なら、助成の対象になるかもしれませんよ。

それなら、私たちのグループでは地域に何か役立つことが無いかと話し合って、ウォーキングコースのゴミ拾いの取り組みをはじめたところなの。それで先日、「もっと仲間を増やしたい！」なんて、みんなで盛り上がってたんだけど・・・。やってみると、清掃道具やゴミ袋とか思いのほか費用がかかるので、このお金をどうしようかって悩んでたのよね。

その取り組みを継続させるために、この基金が活用されるなら素晴らしいですね！生活支援コーディネーターと連携して、地域のニーズを確認したり、協力者を増やしてコミュニティを広げてみることをお勧めします！

なんだか私たちも、もっと広く地域とつながれる気がしてきたわ。さっそくコーディネーターに相談しに行こうっと！

さわやか福祉財団の「地域助け合い基金」の特長　その２：基金の目的は地域連携を重視した活動支援

この基金のサブタイトルにも含まれる「地域共生社会」というキーワード。スケールが大きくて、わかりにくいという声も有りました。もう少しポイントを具体的に表現すると、お申込みいただく際に「地域連携」の要素が含まれているかを確認してください。つまり自分たちだけの趣味や、その組織の設備投資などではなく、その活動を通じて、地域の人たちがどのようにつながっていくのか。さらにはその活動の協力者として仲間になってもらうことができるのか。その将来的な目標を見据えた企画であれば、私たちは活動の立上げや継続・発展のために、幅広く本助成基金を活用いただきたいと考えています。

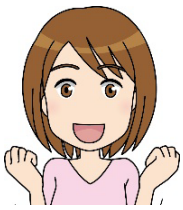
～　地域助け合い基金　ご理解いただきたい３つの特長　～

③　「情熱」を共有し高め合って共生の活動を広げる

代表をされている団体は、この基金で助成を受けたんですよね。
他の助成金と比べると、対象の活動も幅が広いし、使途に
ついても柔軟に対応してもらえるって本当ですか？

でも、私たちは、逆にプレッシャーを感じたわよ。だって、報告書を
提出しなきゃいけないからね～。

報告書？私、経理には自信あるの。正確な報告なら任せて！



わ～心強い。だけど、それだけじゃないのよ。この基金って
申込書と報告書の一部がホームページに掲載されるの知ってる？

もちろん知ってますよ～。でも、それが何か・・・

そ～なんですっ！僕たちは、報告の内容を情報公開して、この基金
にご寄付いただいた方をはじめ、広く全国に向けて皆さんの
助け合いに対する「熱い想い」を伝えたいんですっ！

え～～っ！私にそんなすごい報告書が作れるかしら・・・。
すごく不安になってきちゃったわ。

心配しないでください！その活動に対する想いや現場の声を
そのまま書いていただければいいんです。申込書では、その計画に
込められた想いを。また報告書では、この助成金の使い道も
さることながら、その活動で地域の人たちからどんな反応が
あったのか、現場の生の声とともに、その活動が発展して行く
様子を全国に伝えていきたいんです！

つまり、地域で私たちが行う活動に込められた「情熱」に大きな
期待がかかっているってことね。一つ一つの活動の情報が、全国の
助け合いに少しでも役立つなら、私も頑張ってみようかな！

さわやか福祉財団の「地域助け合い基金」の特長　その３：皆さんの想いを全国の助け合い活動のヒントに！

私たちは、この基金で助成する活動を応援する気持ちとともに、とても大きく期待していることがあります。それは、その活動がどのように地域に影響を与えたか報告をいただくことです。すでにお伝えしましたが、この基金は助け合いを広げたいという願いを、全国からご寄付という形で受けています。だから活動の報告には、この基金がどのように活用されて、地域にどれだけ助け合いが広がったのか。さらには、申込書にも、どれだけ「情熱」をもってその活動を実践したいと考えているのか。ぜひ、皆さんの熱いメッセージを書き込んでいただきたいのです。その情報が全国で活動する人たちへのヒントとなり広がります。